



JICA (ER) 第 2 - 04002 号

平成 22 年 2 月 3 日

環境社会配慮審査会
委員長 村山 武彦 殿

独立行政法人 国際協力機構
理 事 新井 泉



環境社会配慮審査会への諮問について

JICA 環境社会配慮ガイドライン 2.4 の規定に基づき下記事項につき諮問いたします。

記

1. 件名

諮問第 9 号

「リベリア国 モンロビア首都圏ソマリアドライブ復旧計画」(開発調査)

2. 諮問事項

「リベリア国 モンロビア首都圏ソマリアドライブ復旧計画」におけるドラフトファイナルレポート

以 上

平成 22 年 4 月 26 日

独立行政法人 国際協力機構
理事 粗 信仁 殿

環境社会配慮審査会
委員長 村山 武彦

諮問第 9 号に対する答申について

JICA 環境社会配慮ガイドライン 2.4 の規定に基づき、諮問第 9 号「リベリア国モンロビア首都圏
染ソマリアドライブ復旧計画」における環境社会配慮調査のドラフトファイナルレポートについて、
別紙のとおり答申いたします。

答申内容を協力事業に反映するよう、お取り計らいください。

以上

リベリア国
モンロビア首都圏ソマリアドライブ復旧計画
ドラフトファイナルレポート 答申

大気・騒音・振動の取扱い

1. 本事業により大幅な交通量の増大が見込まれるため、土ぼこりだけでなく、**NOx・SPM・鉛**の汚染レベル現状値を踏まえ推計した上で、対策について提言することが望ましい。
2. 騒音・振動についても工事中の一時的な影響に配慮する扱いにすることを検討していただきたい。

メスラド湿地

3. 本事業はメスラド湿地に隣接し、クリーク周辺の一部地域では接続していることに鑑み、工事中及び供用時における大気汚染、水質汚濁、廃棄物等における湿地に及ぼす負の影響に対する具体的な緩和策を相手国政府に提言すべきである。
4. 本事業の検討を通じて得られた情報を、現在相手国で策定中のメスラド湿地保全計画に関連する機関に対して提供することが望ましい。

住民移転

5. 今後の調査において可能な限り住民移転数を小さくする努力が必要である。またその過程で **Right of Way (ROW)** が小さくなる場合には、それに応じた騒音、振動等環境影響の予測を行い、必要に応じた緩和策を提案すべきである。
6. **ROW** 内の居住者や商業従事者等が補償対象になるのか不明確であるため、補償の範囲について明確に記載すべきである。

ステークホルダー協議

7. ステークホルダー協議の場で議論されている、**ROW** を 150 フィートから 100 フィートにすることへの可能性について、相手国政府の基本的な考え方を示しておくことが望ましい。

以上